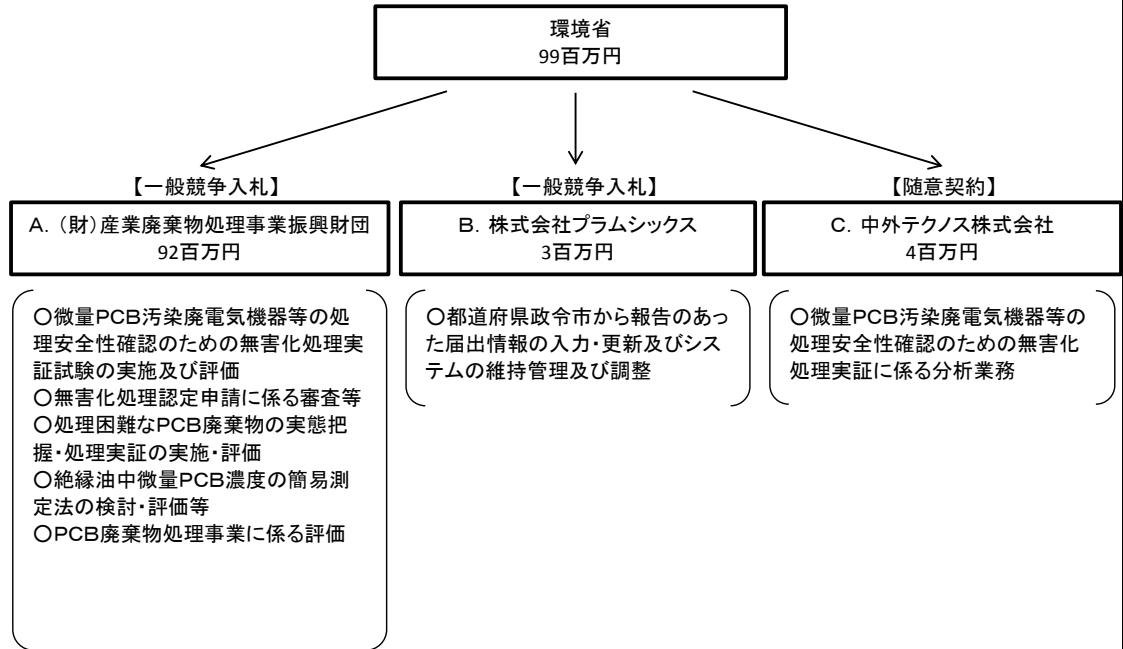


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		PCB廃棄物適正処理対策推進事業		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		事業開始：平成13年度		担当課室	産業廃棄物課		産業廃棄物課長 廣木 雅史		
会計区分		一般会計		施策名	4-4 産業廃棄物対策 (排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別 措置法第5条及び第8条等		関係する計 画、通知等	PCB廃棄物処理基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)		○微量PCB汚染廃電気機器等について、処理の安全性確認のための実証及び無害化処理認定等により、その効率的かつ確実な処理体制の構築を図る。 ○大きさや漏洩等の制約により処理が困難なPCB廃棄物について、実態把握・処理実証を踏まえ、円滑なその処理の推進を図る。 ○PCB特別措置法に基づく全国のPCB廃棄物の保管等の状況に関する適切な把握等により、PCB廃棄物の円滑かつ確実な処理の推進のための情報としての活用を図る。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		○微量PCB汚染廃電気機器等について、各種設定条件において安全かつ確実な処理が行えることを確認するための処理実証試験の実施・評価を行う。 ○廃棄物処理法に基づく無害化処理に係る認定申請に係る審査等を実施する。 ○絶縁油中の微量PCBを短時間かつ低廉な費用で測定できる方法(簡易測定法)の評価等を行う。 ○処理が困難なPCB廃棄物について、全国における実態把握調査、効果的な処理方策検討のための実証の実施・評価を行う。 ○PCB特別措置法に基づくPCB廃棄物届出データについて、都道府県及び政令市から報告のあった届出情報の入力・更新及びシステムの維持管理及び調整を行う。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予 算 の 状 況	当初予算	33	28	107	97	125	
			補正予算	0	0	0	0		
			繰越し等	0	0	0	0		
			計	33	28	107	97	125	
		執行額	35	25	99				
執行率(%)	106%	89%	93%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)
		PCB廃棄物(高圧トランス等) 全体累積処理台数		成果実績	件	34,102	58,364	88,765	329,500
				達成度	%	10.3%	17.7%	26.9%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		処理実証試験評価数		活動実績 (当初見込み)	回	4 (4)	7 (7)	6 (4)	— (10)
		処理実証試験評価1件当たりの金額 (5,061千円/件)		算出根拠	※平成22年度 処理実証評価に係る予算額(30,366千円) /処理実証試験評価数(6件)=5,061千円				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費		97	125	PCB廃棄物処理の進捗状況を踏まえ、発生抑制及び処理スピードアップのための調査を新たに行う必要があるため。				
	計		97	125					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>請負者における業務の進捗状況を随時把握し、請負者において仕様書に基づき限られた予算内で確実にかつ効率的に業務が実施され、当初想定された成果が得られたことを確認しており、事業実施状況の把握は適切に行っている。今後も引き続き、最大限の成果が得られるよう効果的・効率的な執行に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>調査対象を重点化する等、事業内容を見直すことにより、予算額を節減すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>処理困難なPCB廃棄物に関する実態調査の実施等を廃止、概算要求額を減額。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(財)産業廃棄物処理事業振興財団			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	微量PCB汚染廃電気機器等の処理 安全性確認のための無害化処理実証 試験の実施及び評価、無害化処理認 定申請に係る審査等、絶縁油中微量 PCB濃度の簡易測定法の検討・評価 等	58			
雑役務費	処理困難なPCB廃棄物の実態把握・ 処理実証の実施・評価	33			
雑役務費	PCB廃棄物処理事業に係る評価	1			
雑役務費	微量PCB廃電気機器等の無害化処理 に係る施設等の技術審査委員会運営	1			
計		92	計		0
B.株式会社プラムシックス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	都道府県政令市から報告のあった届 出情報の入力・更新及びシステムの 維持管理及び調整	3			
計		3	計		0
C.中外テクノス株式会社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	微量PCB汚染廃電気機器等の処理 安全性確認のための無害化処理実証 に係る分析業務	4			
計		4	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	産業廃棄物処理事業振興財団	微量PCB汚染廃電気機器等の処理安全性確認のための無害化処理実証試験の実施及び評価、無害化処理認定申請に係る審査等、絶縁油中微量PCB濃度の簡易測定法の検討・評価等	57.7	1	95.5
2	産業廃棄物処理事業振興財団	処理困難なPCB廃棄物の実態把握・処理実証の実施・評価	32.5	1	98.2
3	産業廃棄物処理事業振興財団	PCB廃棄物処理事業に係る評価	0.9	随意契約	—
4	産業廃棄物処理事業振興財団	微量PCB廃電気機器等の無害化処理に係る施設等の技術審査委員会運営	0.9	随意契約	—
5					
6					
7					
8					
9					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社プラムシックス	都道府県政令市から報告のあった届出情報の入力・更新及びシステムの維持管理及び調整	2.8	3	72.1
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中外テクノス株式会社	微量PCB汚染廃電気機器等の処理安全性確認のための無害化処理実証に係る分析業務	3.9	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					